

令和7年度の事業概況及び決算について

I 事業概況

II 決算

1 財務諸表

- (1) 収支計算書
- (2) 貸借対照表
- (3) 財産目録

2 目で見る「収支計算書」と用語解説

各位

愛知県信用保証協会

令和7年度の事業概況及び決算について

日頃は、本協会の業務運営に格別の御支援を頂き、厚くお礼申し上げます。
この度、令和7年度の事業概況及び決算を取りまとめましたので、お知らせします。

I 事業概況

愛知県内の景気は、緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、物価高や人手不足、国際情勢の不安定化などにより、依然として予断を許さない状況が続いています。

金融環境に目を向けると、貸出金利が上昇を続ける中でも、金融機関の貸出残高は増加基調で推移しており、一定の資金需要が維持されています。一方、株式会社東京商工リサーチが公表する「全国企業倒産状況」によると、物価高や人手不足を要因とする企業倒産が目立ち、倒産件数は高止まりしています。

このような環境の下、本協会においては、米国関税措置や物価高に対応するために創設された環特補助(※)や、原材料価格の高騰、人手不足等の影響を受ける事業者に対して金融機関と協調して支援する協調支援型特別保証などの制度を活用し、金融支援に取り組みました。この結果、令和7年度の保証承諾額は5,839億円(前年度比111.8%)、保証債務残高は1兆9,508億円(前年同期比100.6%)となり、いずれも前年度実績を上回りました。なお、代位弁済額についても、倒産件数の増加に伴い、309億円(前年度比101.3%)と、僅かながら前年度実績を上回りました。

本協会では、県内の中小企業・小規模事業者が抱える課題の解決に向けて、金融機関や各支援機関等との連携を図りつつ、経営改善・再生支援等のための態勢整備を一層進めることで、金融支援と経営支援の強化に取り組んでいきます。

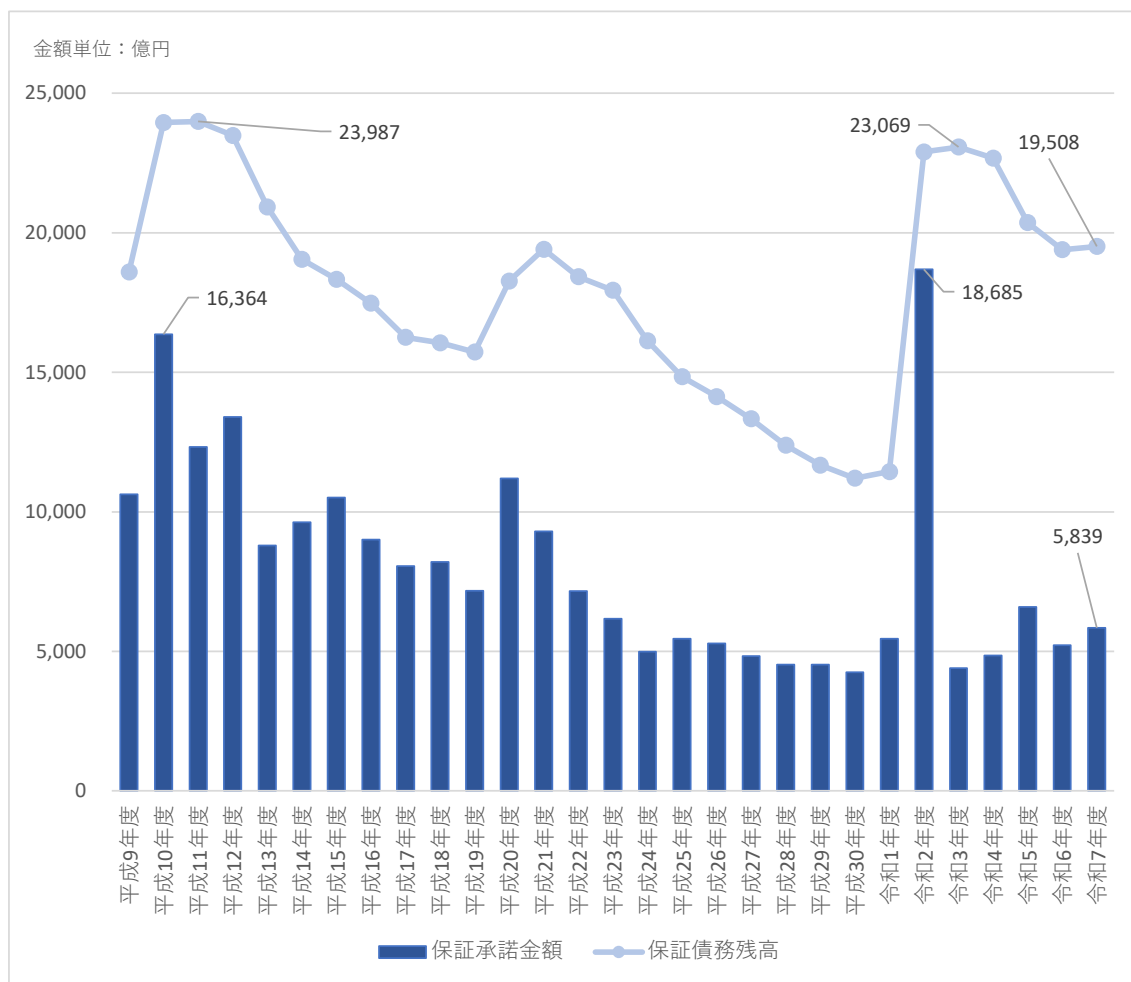
今後とも、「ともに挑戦し、ともに成長し、豊かな未来を創る」という理念の下、中小企業・小規模事業者と共に地域経済の発展に尽力していきますので、引き続き御支援いただきますよう、お願い申し上げます。

※経済環境適応資金・サポート資金【経済対策特別】「米国関税措置・物価高対応枠」

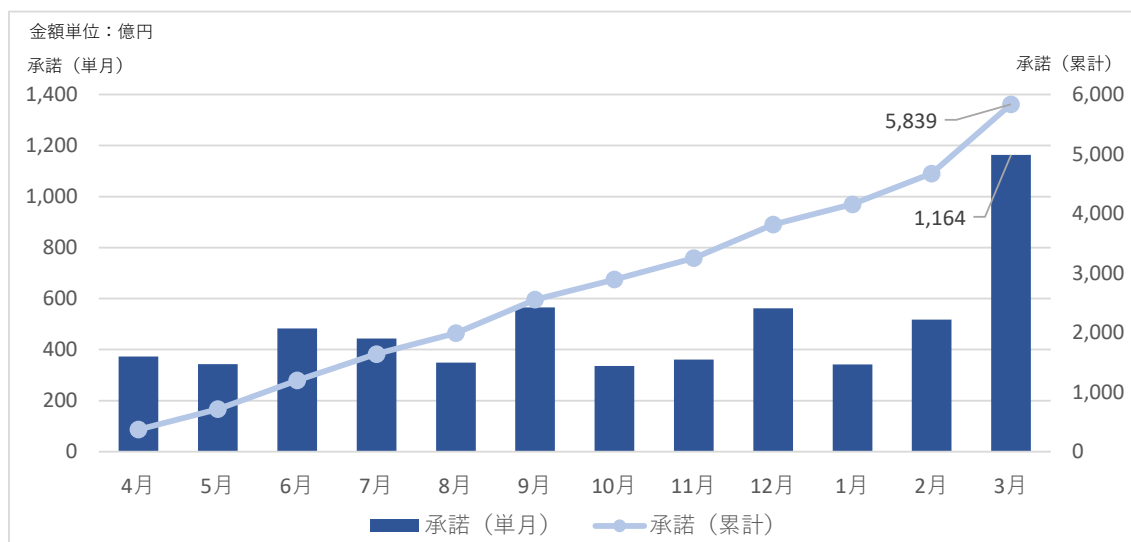
(単位 億円、%)

区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	金 額	前年度比	金 額	前年度比	金 額	前年度比	金 額	前年度比	金 額	前年度比
保証承諾額	4,395	23.5	4,855	110.5	6,594	135.8	5,222	79.2	5,839	111.8
保証債務残高	23,069	100.7	22,675	98.3	20,363	89.8	19,391	95.2	19,508	100.6
代位弁済額	107	93.1	173	162.0	253	146.0	305	120.5	309	101.3

保証承諾金額、保証債務残高の推移（平成9年度～令和7年度）



保証承諾金額の月別推移（令和7年度）



II 決算

1 財務諸表

(1) 収支計算書 (令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位:円)

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
経常支出		経常収入	
業務費	5,014,813,376	保証料	18,751,830,803
借入金利息	0	預け金利息	245,536,267
信用保険料	8,634,556,795	有価証券利息配当金	964,513,842
責任共有負担金納付金	255,125,271	延滞保証料	0
雑支出	980,238	損害金	104,072,097
		事務補助金	71,473,967
		責任共有負担金	2,113,495,000
		雑収入	120,851,480
経常支出合計	13,905,475,680	経常収入合計	22,371,773,456
経常収支差額	8,466,297,776		
経常外支出		経常外収入	
求償権償却	28,120,532,363	償却求償権回収金	270,025,114
雑勘定償却	5,284,831	責任準備金戻入	12,931,048,878
退職金	9,888,903	求償権償却準備金戻入	5,260,316,531
責任準備金繰入	13,182,612,729	求償権補填金戻入	26,705,562,519
求償権償却準備金繰入	6,090,094,859	保険金	23,745,314,198
その他支出	15,766,343	損失補償補填金	2,960,248,321
		その他収入	0
経常外支出合計	47,424,180,028	経常外収入合計	45,166,953,042
経常外収支差額	▲ 2,257,226,986		
制度改革促進基金取崩額	0		
収支差額変動準備金取崩額	0		
当期収支差額	6,209,070,790		
収支差額変動準備金繰入額	2,942,152,962		
基本財産繰入額	3,266,917,828		

(2)貸借対照表 (令和8年3月31日現在)

(単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
現金	472,131	基本財産	122,185,201,572
		基金	4,733,949,000
預け金	60,687,255,955	基金準備金	117,451,252,572
		制度改革促進基金	0
有価証券	175,445,782,041	収支差額変動準備金	61,092,600,785
		責任準備金	13,182,612,729
動産・不動産	8,127,658,887	求償権償却準備金	6,090,094,859
		退職給与引当金	3,147,367,897
損失補償金見返	128,628,528,289	損失補償金	128,628,528,289
		保証債務	1,950,832,565,243
保証債務見返	1,950,832,565,243	借入金	0
		雑勘定	56,836,918,820
求償権	13,935,270,222	保険納付金	413,255,016
		損失補償納付金	49,542,521
雑勘定	4,338,357,426	未経過保証料	56,304,664,586
未収利息	205,526,794	未払保険料	10,254,054
未経過保険料	4,034,331,731	その他	59,202,643
その他	98,498,901		
合計	2,341,995,890,194	合計	2,341,995,890,194

(参考)

上表は、信用保証協会法施行規則等に基づいて作成していますが、よりご理解いただくため、一般企業における貸借対照表の表示等に置き換えると次のようになります。

(単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
【資産】		【負債】	
現金・預け金	60,687,728,086	責任準備金	13,182,612,729
有価証券	175,445,782,041	退職給与引当金	3,147,367,897
動産・不動産	8,127,658,887	借入金	0
求償権	13,935,270,222	雑勘定	56,836,918,820
求償権償却準備金	▲ 6,090,094,859	未経過保証料	56,304,664,586
雑勘定	4,338,357,426	その他	532,254,234
未経過保険料	4,034,331,731	負債合計	73,166,899,446
その他	304,025,695		
		【正味財産】	
		基本財産	122,185,201,572
		基金	4,733,949,000
		基金準備金	117,451,252,572
		制度改革促進基金	0
		収支差額変動準備金	61,092,600,785
		正味財産合計	183,277,802,357
合計	256,444,701,803	合計	256,444,701,803

※次については、備忘勘定で借方・貸方同額のため、上表から除いています。

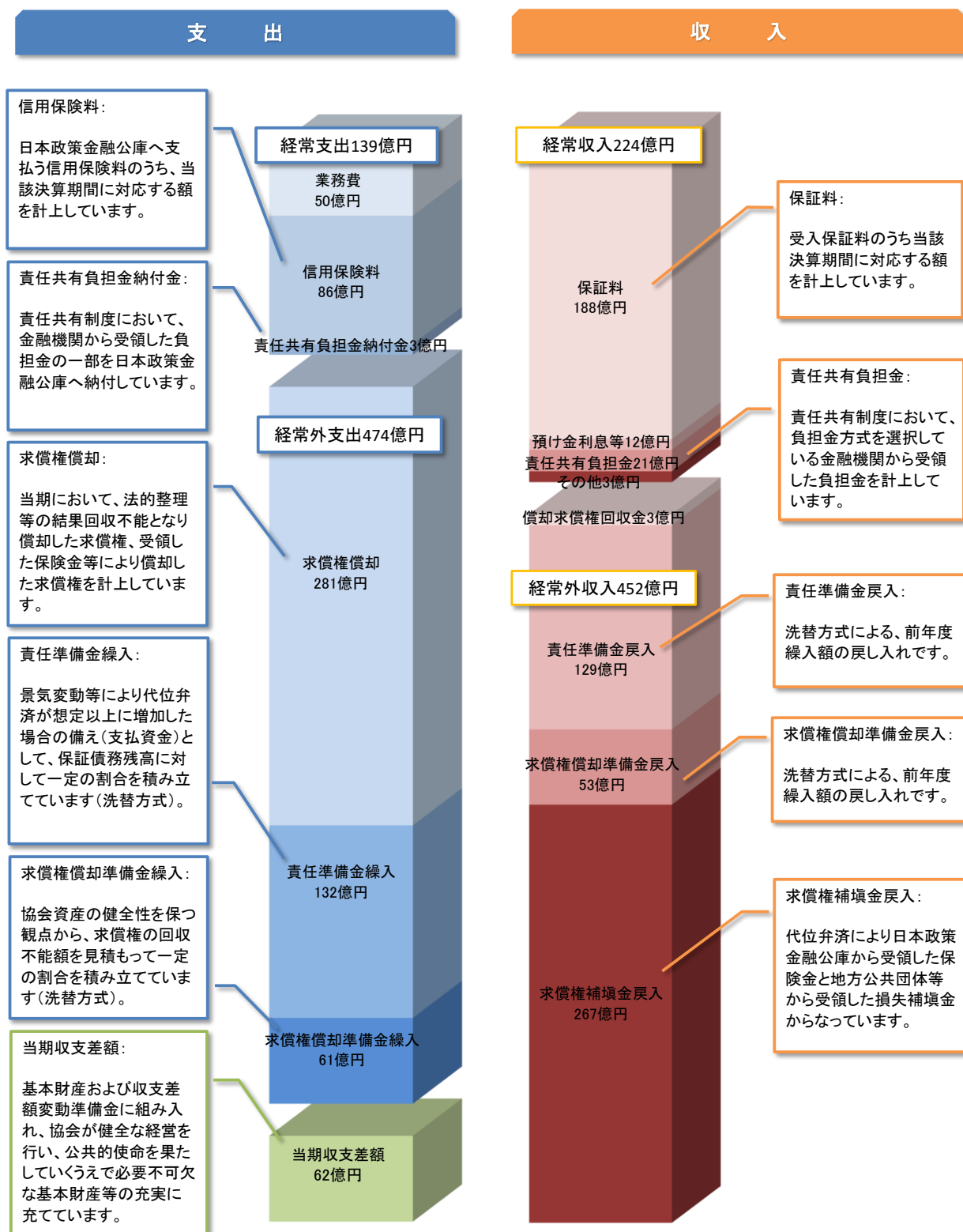
- ・保証債務見返(借方)、保証債務(貸方)1,950,832,565,243円
- ・損失補償金見返(借方)、損失補償金(貸方)128,628,528,289円

(3) 財産目録 (令和8年3月31日現在)

(単位:円)

資 産		負 債	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金	472,131	責任準備金	13,182,612,729
預け金	60,687,255,955	求償権償却準備金	6,090,094,859
有価証券	175,445,782,041	退職給与引当金	3,147,367,897
動産・不動産	8,127,658,887	損失補償金	128,628,528,289
損失補償金見返	128,628,528,289	保証債務	1,950,832,565,243
保証債務見返	1,950,832,565,243	借入金	0
求償権	13,935,270,222	雑勘定	56,836,918,820
雑勘定	4,338,357,426		
合計	2,341,995,890,194	合計	2,158,718,087,837
		正味財産	183,277,802,357

2 目で見る「収支計算書」と用語解説



(注) 数値の単位未満を四捨五入しているため、内訳と合計値が一致しない場合があります。